

<第464回>

目的地：高島トレイル part3

担当者：白神

実施日：2025年10月25日(土)

形 式：日帰りロングトレイル

費 用：¥3,590 (JR京都駅発着)

参加者：3名

天 気：曇りのち雨

行 程：

京都駅(7:10)⇒(7:59)近江今津(8:15)⇒(8:35)保坂BS(8:40)→(9:05)水坂峠→(9:35)P486  
→(10:25)二の谷山(10:45)→(11:50)桜峠→(12:10)行者山登山口→(12:30)鉄塔下[昼食](12:55)  
→(14:15)行者山(14:25)→(15:15)横谷峠→(16:05)横谷BS(16:17)⇒(16:30)朽木学校前[食事](17:40)⇒(18:15)安曇川駅(18:33)⇒(19:30)京都駅[解散]

感 想：

一週間前から気をもんでいた天気、どうも好転しそうにないので、3人で話し合った結果、今回は日帰りでテント泊装備はなしということで実施としました。結果として、本当に良かったと胸を撫でおろしています。

まずは半年前のトレイルの終点水坂峠からスタート。いきなりの急登を登り、稜線に出ます。そこからは小さなアップダウンを繰り返しながら、中央分水嶺の稜線を歩きます。特に目を見張るような絶景はありませんが、行く手の右側に降った雨は日本海へ、左側に降った雨は琵琶湖を経て太平洋へ。そう考えるとなんとなくロマンを感じます？

一旦桜峠へ降りたあとしばらく車道を歩いて行者山の登山口へ。登山口は少し藪に覆われていてわかりにくかったです。登山口からしばらく行った所の鉄塔の下で昼食としました。この頃になると雲の厚みも徐々に増していたようです。

行者山から横谷峠へ、結局一人の登山者とも会わずじまいでした。横谷峠の手前では、テント場適地らしき場所を確認、横谷峠から横谷集落へ少し下がった場所には水場も確認できました。この水場はしっかりした水場です。しばらく歩いていると、いきなり本降りの雨。この雨の中、テント装備を持っていれば、まだテント場にもたどり着けず、ずぶ濡れになりながらテント設営かと思うと・・・。

朽木学校BSではバスの減便により一時間以上の待ち時間がありましたので、近くのお蕎麦屋さんで鹿そばを3人で味わいました。

なんとも結果オーライの例会ではありました。